

平成 29 年度第 2 回青森市民図書館協議会会議概要

- 1 日時 平成 30 年 3 月 27 日(火) 15 時 00 分～16 時 15 分
- 2 場所 青森市民図書館 8 階会議室 2
- 3 出席委員 伊東暁生、蝦名理佳、安田聡子、伊藤理子、遠藤浩一、秋元美香子、中園裕、秋谷進、工藤宏、柴田章二（10 名）
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席職員 館長 若佐谷昭人、室長 工藤大輔、主幹 須藤裕二、主幹 村上泰子、主幹 中村篤、主査 高橋明子、主事 渡邊世梨華
- 6 傍聴者 なし
- 7 次第

(1) 平成 29 年度第 2 回青森市民図書館協議会

開会

会長あいさつ

報告事項

- ・平成 30 年度の青森市民図書館運営について

(配付資料をもとに事務局より説明)

その他

閉会

8 主な質疑応答、意見等

《委員》

管理運営事業について、入館者数が減少しているが要因は何か。

館内事業の企画について、参加者数を示せ。

館外事業について、市民ガイドブックに「市民図書館配本所」の記述があったが、場所や蔵書について記載していただきたい。

《事務局》

入館者数の減少についてはあらゆる原因が考えられ、人口減少や高齢化、市民図書館に来なくても、自宅に居ながら電話で予約ができたり、近くの市民センターで本の受け取りができるサービスがある。市民センターの利用者数は把握していないが、貸出冊数は急激に増えていることから市民センターの利用者が増えたことが、入館者数の減少の一つの要因ではないかと考えている。

館内事業の企画については、おはなし会において、1 回あたり大体 5 組から 10 組の参加がある。

館外事業については、よりわかりやすい表記をするよう働きかけていきたい。

《委員》

1 月から市役所が移転してきたが、昨年度の 1 月から 3 月と比べると利用者数は増えているのか。

《事務局》

利用者数は、平成 28 年度の 1 月が 48,576 人、2 月が 44,729 人。平成 29 年度の 1 月が 44,913 人、2 月が 41,194 人である。

《委員》

あまり変わっていない。熊本市では、市の文化センターと市民図書館が一緒になり、相乗効果で貸出冊数も伸びたことから、青森市民図書館も同様に伸びると期待していた。

《事務局》

青森市は商業施設と図書館の相乗効果があったが、現在は商業施設の跡に駅前庁舎が入り、新しい体制になったところであり、今後とも利用促進を図りたいと思っている。

《委員》

利用者層はかなり変わってくるか。

《事務局》

行政や会社関係の人たちが増えるのではないかと思われる。また、地域の利便性が高まっていることから、市民センター等の利用者が増えていくことも予想される。

《委員》

本日の議題について「報告事項」となっているが、「協議事項」としたほうが適切ではないか。

《議長》

今後の参考とする。

《委員》

アウガの商業施設が閉鎖されている期間は入館者数にどれくらい影響があったのか。

《事務局》

まだ商業施設が営業していた時期で、平成 28 年度の 4 月が 42,157 人、5 月が 45,170 人、6 月が 46,898 人、7 月が 50,045 人、8 月が 52,832 人、9 月が 48,880 人、10 月が 25,047 人、11 月が 45,699 人、12 月が 47,782 人、1 月が 48,576 人、2 月が 44,729 人である。

それに対して、平成 29 年度の 4 月が 38,115 人、5 月が 40,365 人、6 月が 42,054 人、7 月が 44,384 人、8 月が 47,819 人、9 月が 43,616 人、10 月が 23,731 人、11 月が 40,940 人、12 月が 41,888 人、1 月が 44,913 人、2 月が 41,194 人であり、全体的に減っている。

《委員》

市民センターや小・中学校等にも図書室があるが、図書館と比べると本は少ないことから、タブレットに本をダウンロードしてその場で見ることができれば、貸出冊数は増えると思うが、そういった取り組みをしている図書館はあるのか。

また、著作権の関係等で難しいとは思いますが、導入できないか。

《事務局》

タブレットの貸出や電子図書のサービスをしている図書館はある。館内閲覧可のデジタルアーカイブは色々と増やしているが、現時点では検討はしていないが、今後の

課題とする。

《委員》

予算も職員も少なくなっている中で、地域のボランティアの方々に頼らざるを得なくなっているが、彼らの仕事がなかなか評価されていない。彼らの許可を得た上で仕事の内容について広報等で紹介すれば、ボランティアに興味を持ってくれる人も増えるかもしれない。また、市民センターの図書室をもっとPRすべきである。

《事務局》

ホームページ上で、ボランティアの方が働いているところを掲載していきたい。青森市読書団体連絡会で機関誌の「ぶっくえんど」を発行しており、内容を外向けにしてPRしていきたいと思う。

《事務局》

市民や議員の方々から「市役所の業務開始に合わせて、図書館も開館を1時間繰り上げて9時にしたらどうか」との提案があったが、これに対する御意見を伺いたい。

《委員》

市民センターの図書室やカダールは22時まで開館していることから、市民図書館も9時から22時まで開館してほしい。

《事務局》

参考までに他市の開館時間は、弘前市は平日9時30分から19時まで、土日祝日が9時30分から17時まで、休館日は第3木曜日と年末年始の12月29日から1月3日まで。八戸市は平日9時から19時まで、土日祝日が9時から17時まで、休館日は月末、祝日の翌日、年末年始の12月28日から1月4日までとなっている。

開館時間の長いところでは、三沢市は平日が9時から20時まで、日曜祝日は9時から17時まで、休館日は第1・3・5月曜日と年末年始の12月28日から1月3日までとなっている。

青森市の場合は、休館日は毎月第2水曜日、年始の1月1日のみとなっている。

《委員》

図書館が松原にあった時の開館時間は何時だったか。

《事務局》

10時から18時で、毎週1回と年末年始も休館だった。

《委員》

統計がとられているので、人が一番多く来る時間に合わせたら良い。早い時間に来館者が多いのであれば繰り上げればいいし、遅い時間が多いなら遅くすればいいので、数字に基づいて対処すれば説得力がある。